

放送100年記念 ラジオ科学教室



復元した昭和初期のラジオ、AM放送や歴史的音源を聴いて、歴史、文化、技術の100年を、やさしく、楽しく、体感してみませんか。

ラジオ（1925年頃）操作体験：現代のデジタル技術と全く異なる原理で動作。真空管の温かい音を聴きましょう。各種ラジオを展示：高価で特殊な技術が、トランジスタやIC使用の回路により小型・低価格化、普及を紹介。



歴史的音源（デジタル音源）を聴く 1925年3月22日に関東大震災で「数万の聴取者」への唯一の情報伝達。戦時中、戦後復興期のラジオ放送で時代背景や歴史や文化を実感。



スマートフォンやインターネットラジオを聴く 多様な



100年前の技術で現代の放送を聴く体験は、単なる懐古趣味ではなく、技術史、社会史、メディアの本質的な役割紹介の貴重な機会と考えます。



日時 R7年12月20日(土) 13:30-14:30 15:00-16:00 同内容 閉会 16:55

場所 佐賀市立新栄公民館 中会議室 参加 無料

実施：ゆいサイエンスクラブ

連絡先 Ja6fyl@yahoo.co.jp

090-9071-3221

約 100 年前のラジオ復元

2025 年 11 月

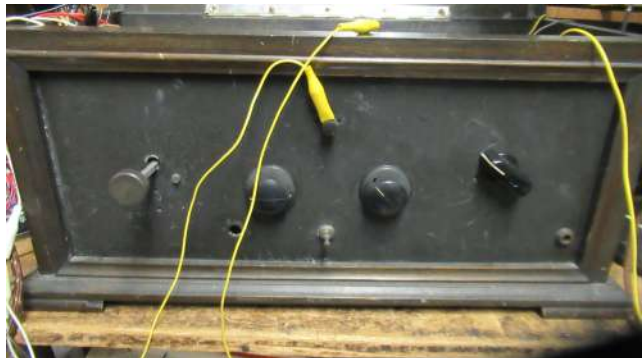
ゆいサイエンスクラブ 第一級陸上無線技術士

幟持佳明

○ 約 100 年前のラジオを、オリジナルを極力維持した状態で動作するように、修復しました、佐賀市で現代のラジオ AM 放送 (NHK 963 kHz、873 kHz 等) が受信できラッパ・スピーカ (Rola) で聴取できます。真空管も動作してます。長年の電子工作技術により、修復作業は全て自力で行いました。



ラジオ ラッパ・スピーカ 共に約 100 年前



再生調整 高周波利得 電源 低周波利得 同調選局



ラジオ内部 同調 再生コイル 真空管



大正 15 年表記 低周波トランス



真空管 ナス型 UX201A 1920年代



CYMOTRON マツダ 現在の東芝

○ 修理の愛用

- ・収蔵ラジオの確認 部品の状態 真空管 (茄子型)
- ・バルブ引っ掛かり 修正
- ・低周波尾ランス輸入品、グリッドリーク輸入品 等 全部品の確認
- ・回路 同調コイル タップ接続 確認
- ・フィラメント レジスタット 確認 修理
- ・フィラメント スイッチ 確認 清掃
- ・低周波トランス 確認 追加 スピーカ用トランス 追加
- ・配線図 資料
- ・バッテリー装置 準備 27V 45V 90V
- ・バリコンの謎 追加
- ・同調コイルの接続 確認
- ・圧着端子による配線 ねじ式接続 尊重
- ・A 電源 安定化

○ 現 状 数 m のアンテナ線の接続で受信し高声機で聴取可能 同調範囲 中波 MF の下周波数帯